

⑤ 再検査

◇ 当ラボの再検査基準に基づき再検査を致します。

⑥ 検査結果のご報告

◇ 検査結果は、原則として所定の報告書にてお届け致します。

◇ 緊急報告を希望される場合は、検査依頼時に予めご指示下さい。また、当ラボ病理専門医が診断の結果緊急連絡を必要と認めた場合はご連絡を致します。

⑦ 検査結果のお問い合わせ

◇ 検査内容等のお問い合わせ・ご意見・ご指摘につきましては、代表（担当者）へご連絡下さい。

## 病理組織検査

検査項目		検査材料	保存方法	実施料 診療報酬区分 判断料区分	所要 日数	検査 方法	容器	
病理組織検査	病理組織検査	1 臓器	室温	860 N000 病	4~8 (7~12) ※A	HE 染色  (その他必要 に応じて 特殊染色)	下記 参照 ※1	
		2 臓器		1720 N000 病				
		3 臓器		2580 N000 病				
	標本作製	1 臓器		ホルマリン固定組織		3~7 (4~8) ※A		HE 染色
		2 臓器						
		3 臓器						

※A、切り出し、再固定、脱脂、脱灰等の処理、または特殊染色を実施した際は、報告日数が遅延する場合がありますので予めご了承ください。

### 【病理組織顕微鏡検査（病理組織標本作製）】

- ◇ 1臓器から多数のブロック、標本等を作製、鏡検した場合であっても、1臓器の検査としております。
- ◇ 3臓器以上の標本作製を行った場合は、3臓器を限度としての算定となります。
- ◇ リンパ節は、所属リンパ節ごとに1臓器として数えます。
- ◇ 区分ごとの1臓器については、下記の通りです。（診療報酬点数表、N000 通知（1））

ア	気管支及び肺臓	カ	上行結腸、横行結腸及び下行結腸
イ	食道	キ	S状結腸
ウ	胃及び十二指腸	ク	直腸
エ	小腸	ケ	子宮体部及び子宮頸部
オ	盲腸		

#### ※間違いやすい臓器数

ウ；胃及び十二指腸は1臓器

カ；上行結腸、横行結腸及び下行結腸で1臓器

### 【検体の提出】

- ◇ 病理組織検査専用の依頼書を添えて提出してください。また、検体は依頼書と同時に提出してください。

### 【病理組織の固定】

- ◇ 固定とは細胞の変性・融解・乾燥などの変化を停止させる作業です。新鮮な状態で採取後、ただちに固定する必要があります。
- ◇ 固定は室温で実施いただき、問題ありません。固定液に入れたあとは、室温での保管をお願いいたします。
- ◇ 固定液は、10～20%ホルマリンを使用し、その量は、組織の10倍以上を目安として、十分な量を使用してください。（シャーレなどの漏れやすい容器は使用不可です）
- ◇ 乾燥した組織や結石、虫体などは病理組織検査の対象外となります。ご注意ください。
- ◇ 解剖材料（解剖症例）は標本作製までの実施となります。ご注意ください。
- ◇ 妊娠12週を超える胎児及びそれに相当する大きさの胎児は、受託できません。ご了承ください。

### 【依頼書および容器ラベルへの記入方法】

病理組織検査は下記内容が重要な情報となりますので、記入漏れのないようにお願いいたします。

#### 【依頼書】 ※下記の必要事項を必ず明記してください。

- ◇ 病医院名、患者名（カナ）、性別、生年月日（または年齢）、カルテID、検体容器数
- ◇ 切除（採取）日、切除部位、病変部性状、検査目的、その他希望事項
- ◇ 臨床診断名、臨床経過、治療、臨床検査諸事項
- ◇ 婦人科疾患、女性乳腺疾患などの場合は月経周期・妊娠の有無、ホルモン治療の有無など

- ◇ 前回実施の病理組織診断内容や、病理組織No.もしくは細胞診No.の記載をお願いします。
- ◇ OPE材料などの大きな組織を提出される場合は切り出し部位の指示をお願いします。

※依頼書には、患者名・性別・年齢・臨床診断・臨床経過及び手術の有無・所見などを必ず正確に明記してください。記入漏れなどがある場合は検査保留となり、問い合わせ等に時間を要しますので、検査が遅延する可能性があります。

#### 【容器ラベル】

- ◇ 病医院名、患者名
- ◇ 依頼書における採取部位No.との照合のため、必ずラベルに採取部位No.（1，2，3・・・）を記入してください。また、臓器名、切除数も記入してください。

#### 【検査材料の採取・提出方法】

- ◇ 提出容器は、口径が組織片の大きさよりも十分に大きいものを使用してください。
- ◇ 1容器に1臓器を入れて提出してください。
- ◇ 検査材料中に糸・ガーゼ・金属片などがある場合はあらかじめ除去してください。

※次の組織を提出される際は、下記の点にご注意ください。

組織	注意点
消化管・胆嚢	薄い板に粘膜面を上にして、虫ピンで止め、粘膜面を下にして、20%ホルマリン液を入れます。十分固定が行われたのち（約1日）上記方法で提出してください。
肺	切り出した面の気管支断端から、20%ホルマリン液を注入し、できるだけ肺胞をふくらませ、空気を追い出したのちに組織を20%ホルマリン液に浸してください。 十分固定が行われたのち（約1日）上記方法にて提出してください。
子宮頸部円錐切除材料	頸部円錐切除標本は原則として前壁正中線（12時の位置）で縦軸方向に切開し、粘膜面を十分伸展させ、板の上に不錆糸でとめて20%ホルマリン液に固定してください。
子宮・乳房・腎	子宮や大きい臓器などでは、固定が不十分となることが多いので、あらかじめ断面を入れてから固定してください。
胃・腸などのパンチバイオプシー	微小組織片をご提出の際は、濾紙などを使用してください。
濾紙に貼付する場合	生検材料の水分をよく取り除き、濾紙の上に10秒以上のせた後に、そのまま20%ホルマリン液に入れてください。（組織を乾燥させないように、十分に注意してください。）

#### 【外部委託】

病理組織検査における標本作製に関しては、『有限会社横浜メディカルサポート』へ依頼をいたします。